

# 平成28年度 五泉市総合部 活動報告

部長 川上 弘宣

## 1 研究主題

授業研究を通して、各校の総合的な学習の充実を図る。

## 2 研究の概要

- (1) 研修会(6月)
- (2) 公開授業事前検討会(9月)
- (3) 公開授業実践(10月)

## 3 研究の実際

- (1) 研修会「総合的な学習の時間のあり方と単元・授業づくりのポイント」(6月)

講師 五泉市教育委員会指導主事 金 洋輔 様

地域に存在する問題から学習課題を設定し、1次体験「問題とあこがれと出会う」→2次体験「自力解決」→3次体験「専門家・経験者との協同」→4次体験「工夫・改善した活動」という「探求的な学習」過程の中に、友達と協力して行う情報収集やその整理・分析行ったり、専門家や地域の人たちとも協同した活動を行ったりする「協同的な学習」を取り込んでいくことが、これからの単元・授業づくりのポイントになることを学ぶことができた。

- (2) 公開授業事前検討会(9月)

総合部員全員が当事者意識をもって参観できるように、授業者から授業のアウトラインのみを提案いただき、部員全員で指導案を立案した。

- (3) 公開授業実践(10月) 五泉市立川東小学校5年教室

- ① 活動名 「おいしさ発見 ふるさと五泉」
- ② 授業者 五泉市立川東小学校 浅間 一成 教諭



五泉市の特産品であるサトイモ品種「帛乙女」について調べてきた子どもたち。その中で、ゲストティーチャーの方たちが「もっと多くの人に味わってほしい、知ってほしい」という願いをもっていることを知った。そこで本時で教師は、「ゲストティーチャーの願いを実現するにはどうすればよいか?」と問うた。子どもたちからは、「サトイモ料理を作って地域の人に食べてもらう」「チラシを作って宣伝する」など、20種を超える意見が出された。出された意見を、「よさが伝わるか」「たくさんの人に知ってもらえるか」の二つを座標軸にして、グループごとに話し合い、KJ表のように位置づけた。その上で各グループが推奨する「おすすめ方法」を発表した。このことにより子どもたちは、情報を「整理・分析」し、これからの活動計画を考えていくことができた。

## 4 成果と課題

何年も同じ学習計画で総合的な学習を進めていくと、学習内容が膠着し、子どもの意識から離れてしまいがちになる。そんな中、子どもの意識と真っ正面から向き合おうとする探求的な学習過程を講師先生から学び、その実現を目指した単元を実践した今年度の授業研究は、総合的な学習が本来もっている意義を見直すよい契機となった。「ふるさと五泉を真摯に見つめ、少しでもよくしていこうとする子どもたちを育てたい」との思いを改めてもつことができた。